

# 社会福祉の良心

Jane Addamsの思想と生涯

同志社大学  
木原活信

## 社会福祉と良心

- 社会福祉実践家⇒ソーシャルワーカー
- 歴史的にみて多くの人々が「良心」が鍵となっている。

## 社会福祉の良心 欧米の場合

- 福祉実践行動の原動力、起爆剤となる  
「良きサマリア人」スピリッツ ⇒  
欧米福祉の源流 “キリスト教的良心”  
主流派でなく、組織力もないときに生じる  
ウエスレーと国教会 救世軍と国教会  
ミュラーと国教会 クエーカーと国教会  
Jane Addamsの例 ⇒以下詳細

## 社会福祉の良心 日本の場合

- 日本の場合 欧米キリスト教の影響
- 同志社「社会福祉」派or「良心派」の系譜  
新島襄⇒山室軍平、留岡幸助、石井十次、牧  
野虎次、賀川豊彦、中村遥、竹中勝男、竹内愛  
二、嶋田啓一郎、金徳俊  
当時の時代の状況との関係

## ジェーン・アダムズって誰？

「ソーシャルワーカーの母」

「社会福祉の良心」

社会福祉のセツルメント運動のリーダー

ハル・ハウス創設者

女性運動、平和運動

ノーベル平和賞受賞

[http://video.search.yahoo.co.jp/search?p=jane+addams&ei=UTF-8&fr=top\\_ga1\\_sa](http://video.search.yahoo.co.jp/search?p=jane+addams&ei=UTF-8&fr=top_ga1_sa)

## Addamsの肖像、Hull-Houseの絵

- Jane 晩年



## 現在のHull-House

• Kids with Jane



## J.Addamsの略年表

- **1860** イリノイ州に生まれる
- **1877** ロックフォード女子大学入学 1881年卒業
- その後、医学部入学、父の死、背中の手術
- 「人生の漂流時代」「モラトリアム」「精神的苦悩時代」
- **1888** Toynbee Hall訪問
- **1889** Ellen Gates Starrと一緒にHull-House開設
- **1909** National Conference of Charities and Corrections (後のNCSW)会長
- **1910** Twenty Years at Hull-House を刊行
- **1917** アメリカ参戦に反対声明
- **1919** Women's International League for Peace and Freedom創設(1919-29会長)
- **1923** 日本訪問
- **1931** ノーベル平和賞受賞
- **1935** シカゴで死去 社会保障法成立

## Jane Addams 概略(1)

ジェーン・アダムズは、政治家(上院議員)であり、銀行、製粉業の経営者であったジョン(John Addams)の娘として1860年にイリノイ州に生誕。父ジョンは、リンカーンの親友であり、ヒックサイト派のクエーカー教徒であったが、思想形成に大きな影響を及ぼした。幼少のころに母を亡くし、その後の家族内、特に継母との確執に苦慮する。

ロックフォード・カレッジ卒業、フィラデルフィア女子医大中退後、父の死去とも重なり心身ともに衰弱し、長いモラトリアム生活を経験。この苦悩から抜け出すための親友エレン・スター(Ellen Gates Starr)の勧めでヨーロッパ外遊。スペインでの体験を機にロンドンのトインビー・ホールで実習をし、セツルメントの構想を抱き、シカゴのスラム街にスターとともにハル・ハウス(Hull-House)というセツルメントを創設。

## クエーカーとは何か

- キリスト教の一派 マイノリティ 迫害
- フィラデルフィア
- 平和主義
- 良心 「内なる光」
- 新渡戸稲造

## Jane Addamsの概略(2)

- 当初、地域教育的なプログラムを展開したが、やがて近代産業都市特有の社会問題に気づき、その解決に向けた社会改良運動を展開。なかでも児童福祉領域の児童保護労働の運動、児童公園創設、移民の生活支援は有名である。
- 1910年には、女性として初めて全米慈善・矯正会議(NCCC)の会長に選出され、当時のアメリカの社会福祉界において、もつとも影響力をもつ人物となった。

## Jane Addams 概略(3)

- しかし1917年にアメリカが第一次世界大戦の参戦に反対したのを契機に、「もつとも危険な女性」というレッテルを貼られ公的立場を失った。以後、主として社会福祉界から退き、平和運動と女性運動に勢力的に取り組むことになった。社会福祉界は、時ちょうど、リッチモンドの『社会診断』(Social Diagnosis)が出版され、ソーシャルワークの専門性という新たな局面を迎えた時であった。
- 多くの著作を残したが、主著『ハル・ハウスの20年』(Twenty Years at Hull-House)は、日本語をはじめ多くの言語に翻訳されている。その他、The Spirit of Youth and the City Streets(1909)、Democracy and Social Ethics(1902)は、社会福祉学、社会学の古典として今も研究者に親しまれている。
- 1931年にノーベル平和賞受賞。1935年に社会保障法が成立したその年に永眠。ある歴史家は、これを彼女の遺産であるといった

## アメリカのセツルメント運動の展開

セツルメントとは？（住み込むこと）共にある「居場所」を求める互いの心

- 1886年 スタントン・コイツ(Stanton Coit)  
ネイバーフッド・ギルド(Neighborhood Guild)設立
- 1889年 ジェーン・アダムズ(Jane Addams, 1860-1935)
- シカゴにハル・ハウス(Hull-House)創設
- cf; 労役場 雑居「ゴミ捨て場」

## ハル・ハウスの活動

**児童福祉** 保育園、幼稚園、児童公園、  
児童の キャンプ活動、 児童労働禁止  
母親年金運動

**労働問題** 児童・婦人の長時間労働の  
禁止、

**移民問題の解決** 移民の主体性 アメリカ  
化への抵抗運動

**婦人参政権運動** 社会における女性の権  
利拡張

## セツルメント運動を支えた人々

### 中上流階級知識人

- 大卒女性の最初の世代
- 聖職者、教師、政治家の代替？
- 社会福音派(ソーシャル・ゴスペル運動)

## アダムズとハル・ハウスの女性

エレン・ゲーツ・スター(Ellen Gates Starr, 1859-1940)

- フローレンス・ケリー(Florence Kelly, 1859-1932)
- ジュリア・ラスロップ(Julia Lathrop, 1858-1932)
- アリス・ハミルトン(Alice Hamilton, 1869-1970)
- エディス & グレイス・アボット(Edith & Grace Abbott, 1876-1957; 1878-1939)

## 現代の社会福祉、ソーシャルワークの影響

- 共に生きるということ
- コンパッションと良心
- 当事者性 対等性 パワーの問題
- 専門職、反専門職
- 居場所の思想
- ローカリティとグローバリゼーション
- 平和と福祉の関係性

## 書簡・日記にみるアダムスと日本の 社会事業家の交流

- ①明治後期～大正前期 アダムス思想との接触と受容
  - 村井知至 生江孝之 家庭学校グループ 留岡幸助他
  - 女性運動家(平塚雷鳥、市川房枝 矢島 林歌子 高良とみ他)
- ②1923年の来日の足跡をめぐって
  - 実証的検証(アメリカ側資料と日本に残された資料の照合)
  - 日本のみたアダムス像とアダムスの見た日本の社会福祉
  - 大正デモクラシー期の社会事業の転換に及ぼしたインパクト
- ③大正後期～昭和初期 アダムス思想の研究と展開
  - 実践を通じた密接な交流:山室民子 賀川豊彦
  - 研究者のアダムス研究:大林宗嗣 海野幸徳
- ④第二次大戦以降におけるアダムス研究の動向とその意味
  - ジャッドソンの児童本!?
  - 柴田善守 その他領域
  - 戦後本質論争とアダムス研究

## Selected Bibliography

- 木原活信『J.アダムズの社会福祉実践思想の研究』川島書店1998
- 木原活信『ジェーン・アダムズ』大空社1999
- Addams, Jane. An extensive collection of Miss Addams' papers is deposited in the Swarthmore College Peace Collection, Swarthmore, Pennsylvania.
- Addams, Jane, *A Centennial Reader*, ed. by E. C. Johnson, with a prefatory note on Jane Addams' life by W. L. Neumann and an introduction by William O. Douglas. New York, Macmillan, 1960.
- Addams, Jane, *Democracy and Social Ethics*. New York, Macmillan, 1902. Republished with an introductory life of Jane Addams by A. F. Scott. Cambridge, Mass., Harvard University Press, 1964.
- Addams, Jane, *The Excellent Becomes the Permanent*. New York, Macmillan, 1932.
- Addams, Jane, *The Long Road of Woman's Memory*. New York, Macmillan, 1916.
- Addams, Jane, *Newer Ideals of Peace*. New York, Macmillan, 1907.
- Addams, Jane, *Peace and Bread in Time of War*. New York, Macmillan, 1922.
- Addams, Jane, *The Second Twenty Years at Hull-House: September 1909 to September 1929*. New York, Macmillan, 1930.
- Addams, Jane, *The Spirit of Youth and the City Streets*. New York, Macmillan, 1909.
- Addams, Jane, *Twenty Years at Hull-House: With Autobiographical Notes*. New York Macmillan, 1910.
- Curti, Merle, «Jane Addams on Human Nature», *Journal of the History of Ideas*, 22 (April-June, 1961) 240-253.
- Farrell, John C., *Beloved Lady: A History of Jane Addams' Ideas on Reform and Peace*. Baltimore, Johns Hopkins Press, 1967. Contains a major bibliography.
- Lasch, Christopher, *The New Radicalism in America, 1889-1963: The Intellectual as a Social Type*. London, Chatto & Windus, 1966.
- Linn, James W., *Jane Addams: A Biography*. New York, Appleton-Century, 1935.
- Tims, Margaret, *Jane Addams of Hull House, 1860-1935*. London, Allen & Unwin, 1961.